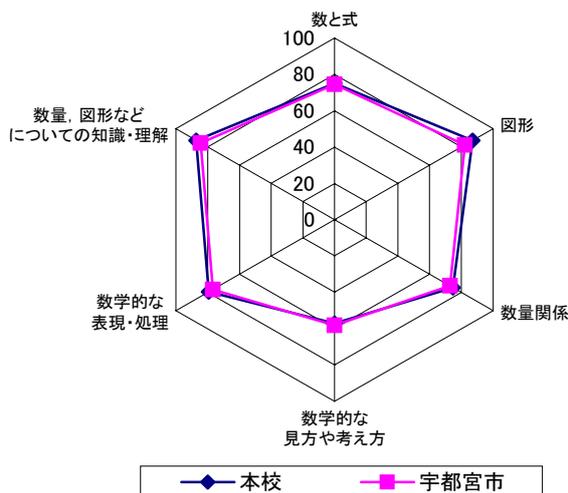


宇都宮市立上河内中学校第2学年【数学】領域別／観点別正答率

★本年度の宇都宮市と本校の状況

		本年度	
		本校	宇都宮市
領域別	数と式	75.1	74.6
	図形	87.0	82.2
	数量関係	74.8	72.8
観点別	数学的な見方や考え方	57.1	58.1
	数学的な表現・処理	79.2	76.8
	数量、図形などについての知識・理解	87.1	84.3



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と式 (75.1%)	・市の平均よりやや高い。式の計算は90%以上の正答率であった。文字式の値を求めることは市より高くなっている。文字式の利用、連立方程式の利用に関しては、市の平均を下回っている。	・今後継続して、計算の反復練習をさせ、計算力を高めたい。複雑な連立方程式の計算も正確に計算できるように練習させ、筋道を立てて考えたり、説明したりする力を身につけさせたい。
図形 (87.0%)	・市と比較して4.8ポイント上回っている。平行線と角の性質、三角形の合同、三角形の合同の証明に関する問題は市と比べると上回っており、全体的に図形については身につけているといえる。	・証明の考え方を十分に理解していない生徒には、はじめに戻って、理解の徹底を図りたい。2年生の図形では用語や定理など、覚えるべきことも多いので、それらを十分に理解し、それを証明等の中でつかえるように指導していきたい。図形に関して意欲的な生徒も多いので、難しい証明問題などにも挑戦させていきたい。
数量関係 (74.8%)	・1次関数についての問題は、直線の式を求める問題以外は市を上回っている。直線の式を求める問題の正答率は69%、一次関数のグラフの利用の正答率は56%で、十分とはいえない。	・1次関数の意味について再度復習させ、表、式、グラフの関係をしっかり理解させていきたい。さらに、具体的な場面で変数の間の関係を表や式、グラフに表すことで、1次関数を利用する力を高めていきたい。